

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

<p>産業廃棄物処理計画書</p> <p>令和5年 6月 8日</p> <p>栃木県知事 福田 富一 様</p> <p>提出者 住 所 栃木県栃木市沼和田町23-5 氏 名 岩下食品株式会社 代表取締役 岩下 和了 (法人にあつては、名称及び代表者の氏名) 電話番号 0282-22-3124</p> <p>廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。</p>	
事業場の名称	岩下食品株式会社
事業場の所在地	栃木県栃木市沼和田町23-5
計画期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	食品製造業、野菜缶詰・果実缶詰・農産保存料食品製造業、野菜漬物製造業（缶詰・瓶詰・つぼ漬を除く） [0932]
②事業の規模	売上高 80億円/年（2022年度実績）
③従業員数	241人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙1のとおり

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図) 別紙2のとおり			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙3-1, 2, 3のとおり	
	排出量	別紙3-1, 2, 3のとおり t	t
	(これまでに実施した取組) 木くず：海外からの原料輸入に使用している木箱を、ステンレス製通い箱への変更を継続的に進めている。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙3-1, 2, 3のとおり	
	排出量	別紙3-1, 2, 3のとおり t	t
	(今後実施する予定の取組) 廃プラ類：工程上のロス管理を行い、使用数量の削減を行い、包装資材に関してはサイズ変更なども検討し、原料段階での使用量削減に取り組む。		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・廃プラ類：再生利用が可能な処理業者への委託が可能になるよう、分別を実施している。		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・廃プラ類：引き続き、廃プラ類については、再生利用できる処理業者への委託が増やせるよう、分別を進める。		

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙3-1, 2, 3のとおり	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	別紙3-1, 2, 3のとおり t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

(第4面)

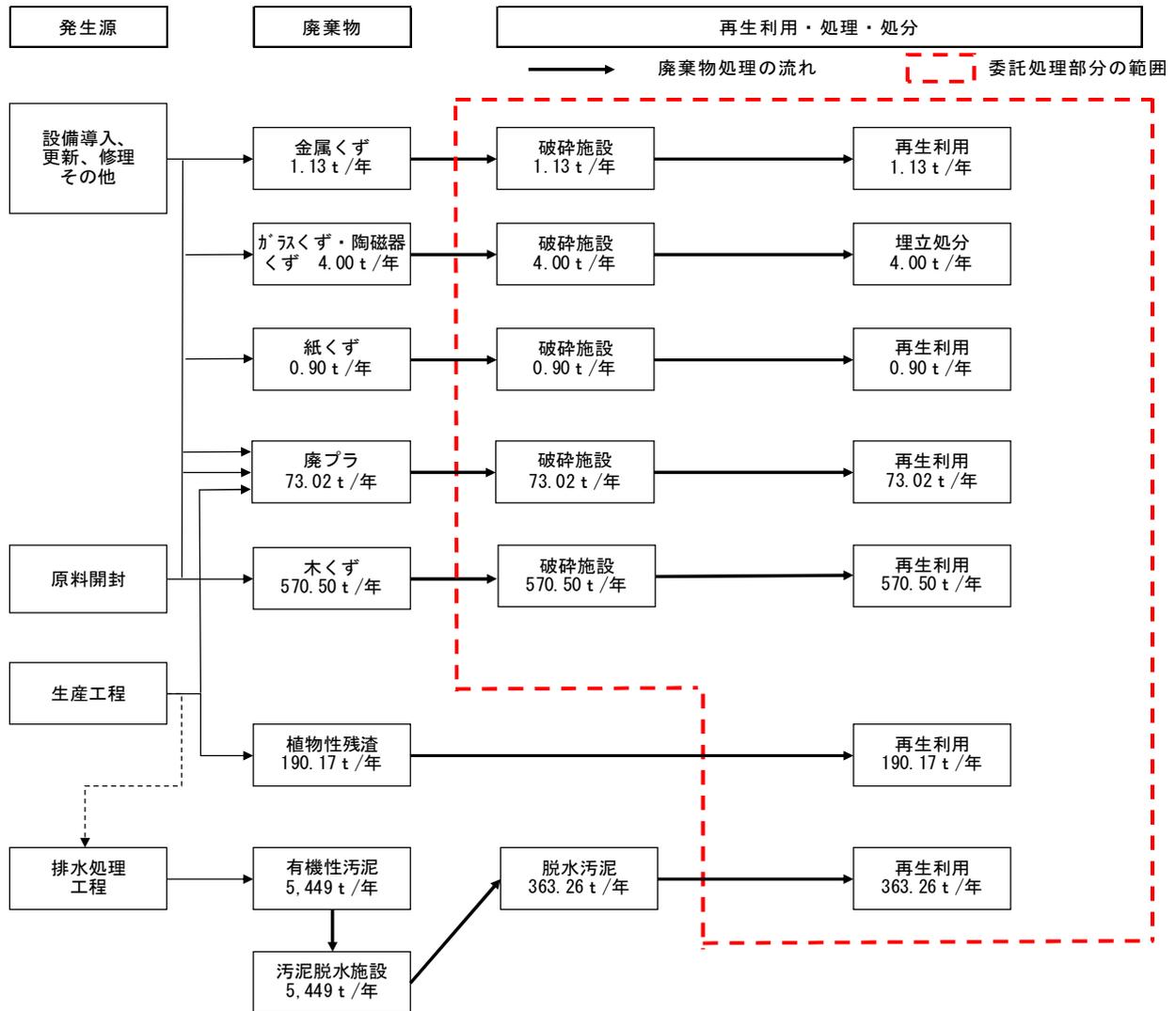
自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) これまで自ら行う産業廃棄物の埋立処分、又は、海洋投入処分はない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	((今後実施する予定の取組) 自ら行う産業廃棄物の埋立処分、又は、海洋投入処分の予定はない。		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙3-1, 2, 3のとおり	
	全処理委託量	別紙3-1, 2, 3のとおり t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	別紙3-1, 2, 3のとおり t	t
	再生利用業者への処理委託量	別紙3-1, 2, 3のとおり t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	別紙3-1, 2, 3のとおり t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	別紙3-1, 2, 3のとおり t	t
	(これまでに実施した取組) ・木くずに関しては、一部原料輸入を木箱からステンレス製の通い箱への変更や樹脂製容器の利用を実施した。		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙3-1, 2, 3のとおり t	
	全処理委託量	別紙3-1, 2, 3のとおり t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	別紙3-1, 2, 3のとおり t	t
	再生利用業者への 処理委託量	別紙3-1, 2, 3のとおり t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	別紙3-1, 2, 3のとおり t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	別紙3-1, 2, 3のとおり t	t
	<p>(今後実施する予定の取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・デザイン変更や処方変更などのリニューアル品切替え時に発生する包装資材の廃棄を抑制を目的として、営業部門と製造部門で連携し、販売計画の精度を高め、廃棄ロスを抑制し、合わせて、仕入れ側では小ロットでの資材発注を行い、ロス削減に取り組んでいく。 		
※事務処理欄			

備考

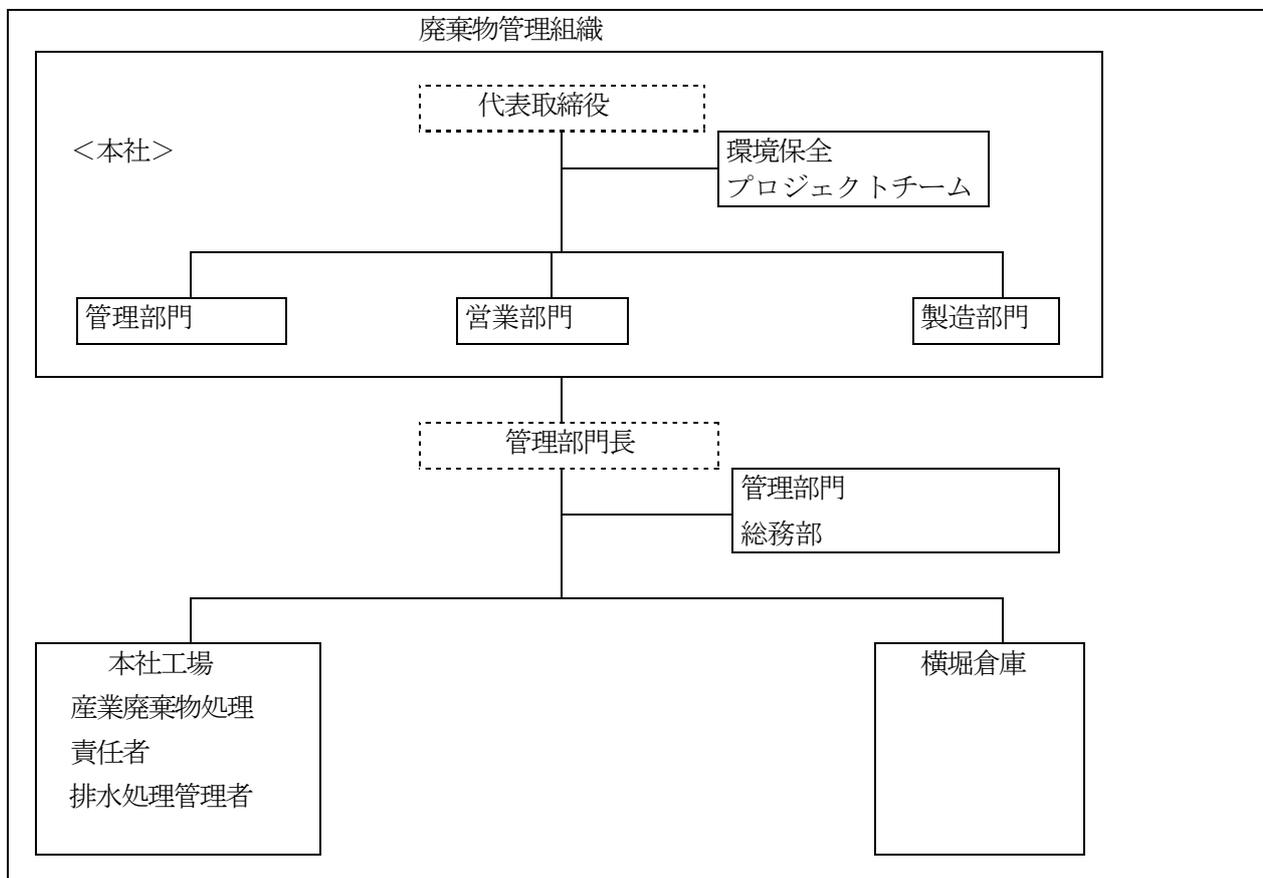
- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「—」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

< 廃棄物処理フロー図（現状） >



<産業廃棄物の処理にかかわる管理体制に関する事項>

統括責任者	所属：管理部門 職名 管理部門長
廃棄物担当	所属：総務部 職名 総務部部长 組織人数：1名
役割	管理部門 ○廃棄物処理に関する検討 廃棄物の発生抑制、再生利用、中間処理、適正処理の推進、計画的な廃棄物の管理運営を行う上で必要な事項を検討する。 *委員長：管理部門長 *委員：生産部 *事務局：総務部 ○産業廃棄物処理施設の運転・維持管理状況の把握
	廃棄物処理統括責任者 ○廃棄物の処理方針の策定 ○工場の廃棄物管理規定の策定・改廃 ○廃棄物処理に関する各種事項の決定、承認 ○委託契約の締結
	廃棄物担当 ○廃棄物処理計画の作成 ○廃棄物管理状況の把握と改善策の検討 ○処理業者、再生利用業者の調査、選定及び管理 ○産業廃棄物管理表の管理 ○監督官庁への各種報告 ○社員、関連会社に対する教育・啓発 ○その他関係する事項



別紙 3-1

廃棄物の種類及び 実績、目標の別 排出・処理 の区分	廃プラスチック類		動植物性残渣		金属くず	
	実績[t] (R4年度)	目標[t] (R5年度)	実績[t] (R4年度)	目標[t] (R5年度)	実績[t] (R4年度)	目標[t] (R5年度)
排出量	73.02	70	190.17	190	1.13	1
自己再生利用量	0	0	0	0	0	0
自己熱回収量	0	0	0	0	0	0
自己中間処理減量化量	0	0	0	0	0	0
自己埋立処分又は海洋投入処分量	0	0	0	0	0	0
全処理委託量	73.02	70	190.17	190	1.13	1
優良認定処理業者への処理委託量	0	0	0	0	0	0
再生利用業者への処理委託量	73.02	70	190.17	190	1.13	1
認定熱回収業者への処理委託量	0	0	0	0	0	0
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0	0	0	0	0	0

別紙 3-2

廃棄物の種類及び 実績、目標の別 排出・処理 の区分	木くず		汚泥		紙くず	
	実績[t] (R4年度)	目標[t] (R5年度)	実績[t] (R4年度)	目標[t] (R5年度)	実績[t] (R4年度)	目標[t] (R5年度)
排出量	570.5	550	5,449	5,250	0.9	1
自己再生利用量	0	0	0	0	0	0
自己熱回収量	0	0	0	0	0	0
自己中間処理減量化量	0	0	5,086	4,900	0	0
自己埋立処分又は海洋投入処分量	0	0	0	0	0	0
全処理委託量	570.5	550	363.26	350	0.9	1
優良認定処理業者への処理委託量	0	0	0	0	0	0
再生利用業者への処理委託量	570.5	550	363.26	350	0.9	1
認定熱回収業者への処理委託量	0	0	0	0	0	0
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0	0	0	0	0	0

廃棄物の種類及び 実績、目標の別 排出・処理 の区分	ガラスくず・コンクリートくず・陶器くず	
	実績[t] (R4年度)	目標[t] (R5年度)
排出量	4	3
自己再生利用量	0	0
自己熱回収量	0	0
自己中間処理減量化量	0	0
自己埋立処分又は海洋投入処分量	0	0
全処理委託量	4	3
優良認定処理業者への処理委託量	0	0
再生利用業者への処理委託量	0	0
認定熱回収業者への処理委託量	0	0
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0	0